

王滝村

# 議会だより



2 年 6 月 定 例 会 概 要 . . . . .	2P ~ 4P
一 般 質 問 . . . . .	5P ~ 10P
木曾広域連合議会定例会報告他 . . . . .	11P ~ 12P

# 令和2年度一般会計補正予算可決

コロナ対策関連含む総額 9,860万円

6月定例議会は6月17日に開会。令和2年度一般会計補正予算を含む議案全てを原案どおり可決し閉会した。一般質問には4氏が登壇した。

## 新型コロナウイルス感染症に係る経済対策等の概要

新型コロナウイルス感染症への対応として、国の緊急経済対策に関するもの、県の緊急事態措置に関するもの、村独自の経済対策について、以下のとおり補正予算に計上した。今後も、国・県の補正予算や経済対策、感染拡大の状況、経済状況等を注視しながら、必要かつ迅速な対策に取り組むこととする。

### 住民支援・生活の下支え

#### 《国の緊急経済対策》

- ◇特別定額給付金事業 75,084千円  
住民1人あたり10万円を給付する。対象者728人（4月27日時点の住民基本台帳人口）
- ◇子育て世帯臨時特別給付金 480千円  
児童手当（本則給付）を受給する世帯に対して、児童1人あたり1万円を上乗せして給付する。

#### 《村独自の施策》

- ◇大学生等生活応援給付金 1,000千円  
アルバイト減少等により生活に影響を受けている村出身の学生を応援するため、応援給付金を支給する。王滝中学校を卒業し、大学・短期大学、高等専門学校等に在学している学生1人当たり5万円。
- ◇子育て世帯生活応援給付金 1,200千円  
感染症の影響を受けている子育て世帯を応援するため、高校生以下の子どもを対象として応援給付金を支給する。子ども1人あたり2万円。

### 事業者支援・経済の下支え

#### 《県の緊急事態措置に関するもの》

- ◇県・市町村連携感染症拡大防止協力金 3,000千円  
県の緊急事態措置等に伴う休業要請等に協力した事業者に、県と市町村との協調による協力金・支援金を支給。村は県への負担金を計上。支給額は1事業者あたり30万円（県20万円、村10万円）

#### 《村独自の施策》

- ◇事業者の資金繰り対策 6,745千円  
王滝村商工業振興条例の特例に関する条例に基づき、県制度資金や村小規模企業振興資金の運転資金を借り入れた事業者の保証料と利子分を補給。

- ◇新型コロナウイルス感染症対策給付金 13,500千円  
感染症の影響で収入が激減した事業者に対して、給付金を支給。1事業者あたり最大30万円。
- ◇村外向け<県内向け>プレミアム商品券 7,024千円  
感染症により深刻な影響を受けている地域経済を活性化するため、本格的な県外誘客の再開に先駆け、新たに県内向けプレミアム商品券を発行し、観光消費額の拡大を図る。  
販売価格 3,000円  
額面価格 6,000円（商品券5,000円 + 宿泊・体験クーポン券等1,000円）  
販売数 1,000セット  
当初予算計上した県外向けプレミアム商品券（予算額10,000千円）は、現時点で県外からの誘客促進が難しいため、村外向けプレミアム商品券に予算を組み替える。額面価格を当初5,000円から6,000円に増額し、県内と県外を同一の商品券として製作することにより、先行して県内向けに商品券の販売を開始し、本格的な県外誘客の環境が整った段階で県外へ販売範囲を拡大する。
- ◇新規事業応援補助金 1,000千円  
テイクアウト等の「新たな生活様式」に適応した事業形態に取り組んでいる事業者に対して、応援補助金を支給。1事業者あたり10万円。
- ◇感染症拡大防止支援金 1,000千円  
県の休業要請による「新型コロナウイルス拡大防止協力金」の対象外事業者で、休業協力や感染リスク低減事業者に対して、支援金を支給。1事業者あたり5～10万円。
- ◇新型コロナウイルス感染症対策給付金 15,000千円  
国の持続化給付金交付決定を受けた事業者に対して、村独自に上乗せして給付金を支給。支給額は、国の持続化給付金交付決定額の1/2以内。上限額は宿泊事業者（法人）100万円、宿泊事業者（個人）50万円、その他事業者30万円。

### 雇用対策

- ◇公共施設周辺環境整備 1,200千円  
事業者の雇用の場を確保するため、環境整備を委託する。（当初予算計上の村営住宅修繕工事から予算組替え）
- ◇道路環境整備委託 1,000千円  
事業者の雇用の場を確保するため、環境整備を委託する。（当初予算計上の村道環境整備工事から予算組替え）

### 教育環境の整備

- ◇小中学校の感染防止対策と遠隔授業用備品整備 786千円  
小中学校授業再開に伴い感染症対策の消耗品を購入するとともに、遠隔授業用の端末やネットワーク環境を整備する。

### その他

- ◇テレワーク環境構築 484千円  
役場の業務継続性確保、自治体行政のスマート化を目的として、役場職員が自宅でもグループウェアにアクセスでき、通常業務を行えるテレワーク環境を整備する。

## 《補正予算質疑》

**問（吉田）** 村内プレミアム商品券について、既に今年発行した分については売り切れになったと聞いている。今年度は発行枚数が例年より少なかったこと、国の給付金があったことなどがその理由と考えられるが、この給付金が村内消費に充てられることは非常に良いことだと思う。専決でも構わないので、最低でも昨年ベースまで発行枚数を増やしても良いのではないかと思うがどうか。

**答（副村長）** 村としても村内の消費拡大に向けて追加発行したい思う。

**問（胡桃澤）** 新規の子育て支援金について伺いたい。若者の定住促進及び児童福祉の増進を図ることを目的とするとあるが、支給対象者の基準について確認したい。

**答（福祉住民課長）** 誕生祝金に関しては、7月1日以降に生まれた子どもが対象となる。卒園・卒業祝金に関しては、2年度の卒園・卒業からを対象として、予算計上をした。

**問（胡桃澤）** 支給実施要項の内容に制約等はあるか。

**答（福祉住民課長）** 子育て支援祝金の支給を受けてから5年以上王滝村に居住することなどがある。

**問（胡桃澤）** 新規事業応援補助金について伺いたい。新規事業の定義がわかりにくい。テ

イクアウト等でいえば、新規に仕出しの許可を取得した事業者が対象ということか。

**答（経済産業課長）** 感染症の影響後、新たにちらし等で宣伝を行っている事業者を対象として考えている。その他の事業に関しても、柔軟に対応していきたい。

**問（胡桃澤）** 申請方法はどのようなものか。

**答（経済産業課長）** ちらし等のコピーの提出を考えているが、テイクアウト以外で対象になりそうな事業があれば、個別に対応することも考えていきたい。

**問（胡桃澤）** 期間も含め、事業者への丁寧な説明をお願いする。

**問（胡桃澤）** 田の原線の路線バス運行について伺う。当初予算で今シーズンの運行が決定していたが、感染症の影響を考慮して休止にしたと聞いた。やっと王滝頂上までの登山が可能になるシーズンに公共交通機関がないということを、お客様に対して大変申し訳なく思うが、当初の予定通り運行する考えはないか。

**答（総務課長）** 貸し切りバスの運営会社からも要望書の提出を受けている。当初の計画より期間は短くなるが、8月1日から9月27日までの休日のみ運行する方向で調整している。

**問（胡桃澤）** 王滝頂上までの登山が可能になり、登山者の滞在時間が長くなることにも考慮した運行ダイヤで調整してもらいたい。

## ○令和2年度 一般会計予算額の推移

単位：千円

当初／補正	歳入歳出予算額	うち感染症対策	主な内容
当初	2,071,226	11,223	県外向け商品券
1号補正	7,243	6,745	利子補給
2号補正	92,548	92,548	特別定額給付金・事業者給付金等
3号補正	1,000	1,000	大学生応援給付金
4号補正	97,605	28,210	村外向け商品券・事業者給付金等
現計予算	2,269,622	139,726	○事業者支援 40,245 ○消費喚起 18,247 ○生活支援 77,764 ○雇用対策 2,200 ○その他 1,270

# 一般質問「そこが知りたい」

本文は答弁も含め質問者の執筆をもとにしています

## 新型コロナウイルスへの対応

下出 謙介

100年に一度ともいえる地球規模にまで感染症が拡大され、時を揺るがす緊急事態宣言の影響などにより、村の景気は大幅に下押しされ、大変厳しい状況となっている。こういった地域事情を踏まえ非常事態に即応した村独自の対策本部を立ち上げるなど新型コロナウイルス対策に当たっているが、村の実情に応じた基本的な対処方法について、また、こういった対策を講じてきているのか。

**問** ①村民に寄り添った支援策について

②活力ある地域作りとして、観光産業（サービス業など）への応援と持続化支援について

**答（村長）** 村としては、村民の生命、健康を守ることを第一と考え、補正予算に盛り込まさせていただいた。

**答（副村長）** スピーディーな支援を行う対応と考え村の予算の6.1%、1億4千万円を住民支援と、事業者支援等に充て事業を進めている。今後の経済動向を注視して、更なる



学校長との面会（5月14日）

支援が必要とされる状況となった場合、柔軟に対処していく。

**問** ③教育法に基づく、こども達へ、学びの支援について

**答（教育長）** 学校施設内のウイルス感染予防対策を万全な体制で対応出来るよう整えた上で、5月7日、8日は小・中学校の時間差を設けた分散当校、翌週11日から通常登校とした。

**問** 学校カリキュラムに沿った授業について、夏休みなど短縮しながらやり繰り計画を立てているようですが年間単位に対して遅れは、学習の進度、進み具合など割合で示していただきたい。

**答（教育長）** 授業学習進度調査状況は、5月末時点で県全体の平均は小・中学校とも32%で、王滝小・中学校は共に70%の学習進度となっている。

**問** 臨時休校などに伴う子育て環境の整備について、新しい試みとして、こういった時にオンライン学習やテレワークといった教育学習は出来ているのかその成果は。

**答（教育長）** 子供達の学習機会確保の観点から保護者の皆様方のご理解をいただきながら、家庭内における学習として課題ドリルの取り組み、中学校へのオンライン授業、図書への貸し出しなど適切に対応してきている。

**問** 運動不足など運動面についての部活など、プールの関係について

**答（教育長）** 部活の再開については、徐々に身体を慣らしながら5月18日から再開、プールについても健康診断を行いながら開始出来る状況となっている。

**問** 夏休み短縮に伴う働き手（臨時的職員、パートの確保）と手当保障について

**答（教育次長）** 夏休みが一週間程短縮される事に伴い給食員の確保については補正に組み入れていない。9月補正で対応していきたい。

**問** ④需要拡大に向けた近隣県へのPRと県外交流事業について、また著しくまん延地域への往来対策などについて

1. 水と緑を軸に下流域との交流が行われてきている中、コロナ禍により交流事業が、閉ざされ延期、又は中止となった事業団体について

また、今後の進め方について

2. 県外向けプレミアム券の発行が見直された事により今後どういった影響に及ぶのか。

**答（副村長）** 村外向けのプレミアム商品券の販売等を県内向け、県外向けと順次始めたい。県外から来られた方々については、マスクの着用や手洗い等徹底させる。事業団体については3密を避ける取り組みと、感染拡大防止をお願いする。

**問** ⑤山小屋の進捗状況と今後の対策と登山者への啓発について

**答（副村長）** 御嶽山王滝口登山道については、本年7月上旬を目処に、王滝頂上までの登山道に限って規制緩和を予定している。今年も引き続き田の原登山道入口にパトロール員の詰所を設置して入山者に対して登山の安全確保の他、密を避ける旨などの啓発を行う。

**問** 第4号補正予算での説明では、受け入れを可能とした補正であることを前提とした質問になります。

**答（総務課長）** 火山防災計画の安全対策の計画の基、特定財源として地方債を充当する。

**問** 登山道整備に800万余の追加補正しているが、今シーズンに限っては、先送りしても良かったのでは、また、他の使い処はなかったのか。

**答（総務課長）** 現在、王滝頂上から二の池の間ルートについて、予め年限が決まっていることから交付金を使った事業をこの時期に行う。

**（まとめ）** しっかりと課題を整理し、登山者への3密を避けての啓発を徹底して行っていただきたい。

**問** ⑥村独自の条例化の考えについて

【こと、のリスクを考えるならば条例は、守る事のためにあるが】について

**答（副村長）** 県では新型コロナウイルス感染症等対策条例の制定に向けた準備が進められているが村としては、今後の状況を踏まえ検討していく。

**問** ⑦今後の村の財政状況について、借金と実質公債比率について

**答（副村長）** 今般の新型コロナウイルス感染症拡大については、“想定外”の事態でありましたが国の新型コロナウイルス感染症対策対応地方創生臨時交付金等活用することで、現時点で実質公債費率の推移を含め、財政見通しは大きく悪化することは無い、と考えている。

**問** ⑧村の文化事業、恒例事業について（開山式・成人式・村祭り、ふれあい運動会）

**答（教育長）** 村の恒例事業イベントなど社会経済活動再開に向けたロードマップに準じて実施することが原則と認識している。教育委員会・公民館では、新しい生活様式に対応し今後の行事について検討する中、成人式は規模縮小時間短縮の上、例年どおり8月15日に、祝賀会は行わない。ふれあい運動会は当初5月23日を10月17日の土曜日に延期実施する予定。また運動会については、学校、実行委員会の協議の上決めていく。

**問** ⑨3密を考慮しつつ緊急事態に備えた避難場所の設置について、これから、梅雨入りと共に、風、雨、洪水、地震といった災害、そして台風シーズンに備えなど考えられる事の対策はハザードマップで示しているかと思いますが、それに加えた、コロナ対応として3密を避ける避難施設について

**答（副村長）** 全国的な課題を受け、当村においても県のマニュアルに準じた対応を実施したいと考えている。避難施設場は、一定の間隔を確保するため、従前は小中学校体育館を指定避難場所としてありますが、体育館の他、ランチルームや普通教室等の多目的スペースなどを加え避難場所として確保する。



大雨により野口区へ避難勧告が発令され、学校の小ホールへ避難した（7月8日）

**問** ⑩感染の再拡大（2波・3波）に備えての対策について

**答（副村長）** 木曾郡を含む県内に置いては今のところ感染拡大は抑えられているが、今後の感染者数の推移に注視し、講ずべき措置を実施して参りたいと考えている。

**（まとめ）** 新型コロナウイルス感染拡大は、【いつ、どこで、どこに】潜んでいるのか、そして【誰が、誰に、どういった形で】感染経路が広まって行くのか、つかみ所がないこの空気上をさまようウイルス感染、【備えあれば憂い無し】の如く、しっかりと今まで以上にアンテナを高く、張り詰め検証し、つまびらかに対処していただきたい。

## 今後の学校のあり方

三浦 征弘

### 1. 学校の問題について

**問** 一人だけだった新一年生は転出した。これで一年生と二年生は共に0人となったが村長は今後の学校のあり方をどのような指示を教育長にしているか。

**答（村長）** 中学校は令和4年から木曾町へ編入する。小学校はたとえ全校生徒が1人になっても存続させる方針を伝えている。

### 2. 三浦大夫について

**問** この三浦大夫を滝越区では観光に活用したいと思っているが予算がなくて困っている。村長は支援をしてくれる考えはないか。

**答（村長）** 支援する考えはありません。理由は憲法89条（公の財産の用途制限）に抵触するからです。

### 3. 自然湖について

**問** 村も議会も自然湖には全然手をかけない。そこで私は提案したい。これを滝越区へ管理等を委譲する考えはないか。

**答（村長）** そこには手をかけない方が良い。手つかずのままだから自然湖である。管理については村にその権限はない。

### 4. 御嶽山噴火災害慰霊碑について

**問** 松原公園内にあるこの慰霊碑は下出議長名が刻まれている。そこで瀬戸村長主催の式典が

行なわれているには私はおかしいと思う。村長はそうは思わないか。

**答（村長）** 今のままで全然おかしくない。実行委員会の長は下出議長だからだ。

**問** その最初の一步がおかしいのだ。

**答（村長）** おかしくありません。

## 村誌の発刊はいつ？

西村 祥夫

### 1. 村誌編纂事業について

**問** 村長が政治生命をかけているとまで答弁している村誌編纂事業は遅れに遅れているが、遅れを取り戻すための努力はどのようにされているのか。また、今までに費やした費用の総額と事業の進捗状況、今後の見通しについて説明していただきたい。答弁は村長自らしていただくよう求める。

**答（村長）** 村誌発刊が大変遅れていることには心からお詫び申し上げます。歴史編のIについては4章の内3章まで入稿され、最終章の前半まで原稿の確認を終えている。本年の8月には発刊できるよう作業を急がせている。村誌などの編纂は書籍会社に委託するのが一般的とされているなかで、当村では村内外の有識者により編纂作業を行っている。納期が確実にないという点はあるが、資料性の高い村誌とすることができる。今、村誌の編纂作業を止めてしまうと2度と発行する機会はないと思われる。大詰めとなっている歴史編の1巻と初稿に取り掛かっている歴史編2巻については、何としても発刊まで事業を続けさせていただきたい。

**問** 資料によれば累積した費用は6千万円を超えている。金額の是非については判断できるものがないが、実は3月議会において、議員の間ではこの予算は問題視されていた。ただ、当初予算であることとコロナが騒がれだしたということもあって、6月議会で取り上げることとした経緯もある。止めろと言っているわけではないし、断片的に聞くなかでも貴重な資料があることは理解できるが、大幅に遅れていることには多くの村民が疑問を持っている。お年寄りの中には楽しみに待っていたながら思いが叶うことなく亡くなってしまわれた人もいる。そういったことにも思いを馳せるべきで、早く結果を出

して欲しい。1巻は8月と聞いたが、2巻はいつになるのか。

**答（教育長）** 1巻は8月の刊行を予定しており、2巻については、村長の任期もあるが、令和3年度中には何とか発刊したい。その後の民族編については書籍化は難しいので、電子ファイル形式で保存したい。遅れていることは誠に申し訳ないが、編集作業を急がせているところでもあり、何とかご理解いただきたい。



今年の御嶽山開山式 太陽の丘公園（木曾町三岳）で代表者のみで行われた（7月1日）

## 2. 地域おこし協力隊について

**問** 地域おこし協力隊については、何をやっているのかさっぱり分からないという声が村民の中に多い。

以下についてお聞きしたい。

①今年度はどのようなコンセプトに基づいて募集したのか。

②活動の実態が見えてこないが、想定されていたコンセプトに沿った活動が行われているのか。また、それぞれの隊員の活動がどのような形で村おこしとして具現化されているのか。具体的な効果を示してもらいたい。（制度導入の初期から現在までの隊員個々の活動と具体的な効果を一覧表で示してもらいたい）

③想定されたコンセプトと相当に乖離した状態にある隊員もいると聞く。解雇を含めた厳しい対応も必要と考えるが村は今後どのようにするのか。

**答（総務課長）** 地域おこし協力隊について、当村では平成25年度から受け入れを始めている。現在まで24名を任命して、現任者6名を除く18名が村内で起業、または村

内の事業所に就職している。隊員の定住率は全国平均が約6割となっているが、当村では3割となっている。昨年度から受け入れ体制を変えて、主にアウトドア関係に絞って隊員の募集を行った。村が想定していたコンセプトについて理解が不十分な部分が生じ、村内の協力事業者に迷惑を掛けることになってしまったことはお詫びしたい。応募した隊員と協力事業者の間で生じたミスマッチについては責任の一端は行政にあると考えている。採用後半年は試用期間であることから、もうしばらくは見極める期間としたい。状況によっては解雇することも想定しなければならないと考えている。来年度については、現況を踏まえて体制を整える必要があるため、それまでは新規の隊員募集は行わない。

**問** とにかく村民からは何をやっているのか分からないという声が多い。具体的な成果も見えてこない。王滝村のようなところではこのような事業は難しいと思う。人選についてもしっかりとやってもらいたい。隊員をフォローするために費やされる村職員の労力と時間ももったいないし、現状では職員が気の毒に思える。王滝村は人口に比べて職員の数が多いので、隊員のフォローに振り回されるよりも職員をもっと有効に使ったほうが村民の理解も得られる。

**答（総務課長）** 去年の7月に機構改革によって4課を3課にした。村おこし推進課の事業が分散されたこともあり、うまく機能していない部分があった。説明不足もあったが、隊員の人選が難しいのは事実である。もう少し多くの時間をかけてやるべきだったと考えている。村の職員が人口に比べて多いのは事実であるが、それぞれ一生懸命に仕事をしており、余分な人員はいないと考えている。

**問** 職員が一生懸命にやっていることは理解しているが、人の使い方をうまくやればもっとできると思うし、民間に比べると甘いところはある。協力隊のために無駄な労力を費やすのは止めてもらいたい。村民から後ろ指をさされるようでは村にとっても隊員にとっても不幸でしかない。

## 知恵を出してふるさと納税を

三浦 清吉

### 1. ふるさと納税を積極的に推進

**問** ふるさと納税を積極的に推進すべきであるが現状は行政は勘違いしているのではないのか、前々から実施している {水と緑の基金} は村長が先進的に進め相当な収入となっていますが、これは行政のみが収入を得る、一般民間には関係がない、一般的なふるさと納税は、総務省の資料では、応援したい団体に寄付した場合金額に応じて、個人住民税、所得税が軽減される寄付金制度である。政府もふるさと納税を推進している。このような時代の流れの中で、村も積極的に推進すべきと思いますが、村長のお考えをお聞きます。

**答（村長）** 現在の村の寄付金制度では15年目2,158件1億4千100万円余のご厚志を頂いています。すべてが、返礼品の設定がない制度のことを理解した上での寄付、私の考えは変わっていない、ふるさと納税は、担当部署から物品でなく、それに代わる返礼を行う提案があり、副村長より答弁をさせます。

**答（副村長）** 前々から提案のあった中での一部試行的に返礼制度の実施を予定しマウンテンバイク等の参加料に返礼相当額を充てる（例1,000人のうち200人程度を参加に充てる）など参加による返礼で、歳出予算がないので予算計上ありません。今までの制度もあり物の返礼でなく、参加によるものなど考えている。

**問** 返礼品、一つのみでは、意味がない、住民にはあまり関係がない、住民が少しでも良くなることを考え、条例や実施要項などを定め、きめ細かく村民、寄付者が良くなるように、早く実施してほしい。また、プレミアム券県外分、3千円券が（6千円）を村負担3千円分をふるさと納税した人のみ購入できる、（返礼品なしとなる）など、知恵を出す。こんな条件を付けることが出来ないかお伺いします。

**答（副村長）** シュミレーションは次回示せる形にしたい、プレミアム券はどのようなのが良いか内部で検討してまいりたいと思います。ふるさと寄付金は、今問題になっている様な事（経費、返礼品など）も踏まえ、次回までに考えています。

**問** ふるさと納税は次回と言う事ですが、次回では遅い、時間がない、手続きに手間、費用がかかるとの事です。ネットによると、そのことを請け負っている会社もあり、中には町で缶ビールなど出している。王滝村は、王滝村独自で、やれるものがたくさんあります。数が集まらないなど言われていますが、少ない品物で種類を多くし、対応するなど手数料がどの位かなど、皆で知恵を出して早く実施してほしい。

### 2. 山村留学を復活

**問** 教育委員会から前もって資料が提出されています。この資料に基づいて、お聞きます。ただ、残念なことに、実施するという事はなく検討中、と言う事で理解していますがこれについてもシュミレーション（何年何月何をどのように何年間で実施）を作成して頂きたい。

**答（教育次長）** 定例教育委員会での意見ですが、児童を増やす検討中、過去にも山村留学はやっていますが、センター留学、それ以外の方法に分けられ、初期投資や経費の少ない親子留学を事務局案として教育委員会に提示、里親留学は個々の家庭の判断など受け入れる条件など、かなり難しい、村の促進対策の中を含め、村全体で考える意見、財政面の検討など、実施計画案までには至っていないが、検討項目の拾い出しからチェックしている段階。計画立案は、民間も含め立ち上げるべき、総合戦略、長期振興計画、作成中です。総合戦略委員の立場なども含め考えていくのがよいのではと考えています。センター留学は施設整備、スタッフ、調理人、募集・育成、留学生の募集など、3つがなければならぬ、運営にあたるカリキュラムなども必要、予算も大きなものが必要、親子留学は、



プールで遊ぶ園児

空いている村営住宅、田舎暮らしは、戸建て住宅が好ましい、（指導員の育成などは不必要）募集はエージェント・村独自等が考えられる。

学校とも十分検討し、王滝村独自の授業形態も考えて行くことも考えています。地域住民の積極的な関わりや村の援助、村がどれだけ費用を出してくれるのか、行政と民間が協力してやってゆくことが大切である。

**問** どの様なことをするにしても、これらのことを早急に、シュミレーションを作成してほしい。村長の考え方もお聞きしたい。

**答（村長）** 方法はいろいろある。地域の人たちが山村留学を皆で応援することが大切で、施設留学は、今後考えていない、財政的に大変、億を超えた財源が必要で、雇用・人材がいればまとまって来てもらう事は有るかなと思う。大切なことなので、皆さんの意見をお聞きしながら、練り上げていこうと思っている。

**問** 考えているようですので前向きに進めてほしい。お金がない話が出ましたが、先ほどのふ

るさと納税なども含め、早く推進し実行しては如何か。今ある財調で2億あれば、実施できると思うが、どう考えているか（財調は、積んでおけば良いでなく、利用して効果が出る。）

**答（村長）** 北相木村の村長とよく話をし、財政難でどうにもならず、一本釣り皆持っていかれ、残念でした。しかし王滝村は、素晴らしいところなので、それに代わるようなスタッフがそろえばと思っている。

**問** 村長が、やる気があるといえば、村の金を使っても、ぜひやって頂きたい、人口増・学校問題うまくいけば解決する。村おこし協力隊の募集も山村留学をやってみないか、などの募集を全国に呼び掛けてみてはどうか。ぜひ、早急に実施してほしい。



## 小学6年生が議会を傍聴しました

今回の6月定例会は王滝小学校6年生3名のみなさんも傍聴しました。国会と内閣の関係などを学習し、村議会は何をしているところか、子どものためにどんなことをしているのか疑問に思ったそうです。

初めて傍聴した感想文をいただきましたので、全文を掲載します。



話の内容が難しすぎてついていけなかったです。議員さん達はよく長時間あんなに座ってられるなと思いました。しかも、スムーズに進められているのがすごいなと感じました。（中越 貴文）

話はむずかしかったし、すわっているのが大変でした。でも村議会で何を話しているのかわかってよかったです。学校でやる青葉会とくらべてみたらぜんぜんちがうなと思いました。青葉会では、一回練習してからやるけど、議会の人たちは練習するのか疑問に思いました。学校のことなども話していてすごいなと思いました。（原 凜花）

今日の村議会のみなさんはずっと動かずすわっていてすごいと思いました。議長さんは、と中で交代するんだなと思いました。話しはむずかしかったけどみんなわたしたちのこと考えてくれてありがとうございます。みんなの前でスムーズにはなせてすごかったです。青葉会でがんばってスムーズに進められるようにがんばりたいです。自分たちが習ったことと同じところもあって、ちょっとだけわかりました。（後藤 優）

# 令和2年木曾広域連合 第2回定例会報告

木曾広域連合は、令和2年第2回定例会を5月27日（水）開会。提出議案は、承認案件1件・報告案件2件・工事請負契約の締結案件2件・条例の一部改正2件・規約変更1件・令和2年度補正予算3件・同意案件1件で原案どおり可決し、その日に閉会した。

## ○行政報告

原連合長から近況の話題と各課の事業についての報告。

○任期満了に伴い、議長と副議長の選挙、議席の指定、常任委員会の選任、議会運営委員の選任が行われた。選挙の結果、議長に木曾町選出の榎本力議員、副議長に下出 謙介議員がそれぞれ選出された。

## ○委員会報告

総務、福祉環境、経済観光の各委員長から調査、研究などについての報告。

○一般質問 山崎 隆二議員（南木曾町選出）

## ○議案審議

承認第1号 専決処分承認

- ・令和元年度木曾広域連合 一般会計補正予算（第5号）として、歳入歳出10,413千円を減額し、総額を4,065,395千円とするもの  
主な内容は、令和元年度分負担金などの確定及び基金の積立、事業の精算など

報告第1号 令和元年度 木曾広域連合一般会計繰越明許費 繰越計算書の報告

- ・ケーブルテレビネットワーク光化促進事業における工事請負費の一部を令和2年度へ繰越すもの。

報告第2号 損害賠償の額の決定の専決処分報告

- ・所有する救急車両が出動中、運転操作を怠り相手方車両に接触、修繕費の支払を専決処分した。

議案第12号 工事請負契約の締結

- ・令和2年度 木曾地域高度情報化網光化促進事業に係る工事請負契約の締結。

議案第13号 工事請負契約の締結

- ・令和2年度 木曾クリーンセンター旧炉施設解体工事に係る工事請負契約の締結。

議案第14号 議会の議員の議員報酬並びに特別職の職員で非常勤の者の報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正

- ・老人ホーム木曾寮の建設業務を進めるにあたり設計審査委員会を設置し、委員の報酬額を定める条例の一部改正。

議案第15号 木曾広域連合介護保険条例の一部改正

- ・新型コロナウイルス感染症の影響を受け、収入が減少、また減少が見込まれる第1号被保険者の介護保険料の減免について条例の一部改正。

議案第16号 長野県町村公平委員会を共同設置する地方公共団体の数の減少及び規約の変更

- ・現在、公平委員会に加盟する団体の一つが来月6月に脱退することにより、規約の一部を変更

議案第17号 令和2年度 木曾広域連合 一般会計補正予算（第1号）

- ・歳入歳出7,072千円を追加し、予算総額4,781,434千円とするもの。主な内容は、4月の人事異動に伴う人件費の組換えや県補助金など関連事業費の計上、新型コロナウイルス感染予防に伴う予算計上など。

議案第18号 令和2年度 木曾広域連合介護保険特別会計補正予算（第1号）

- ・歳入歳出3,579千円を減額し、予算総額4,312,590千円とするもの。主な内容は4月の人事異動に伴う人件費の減額。

議案第19号 令和2年度 木曾広域連合下水道事業会計補正予算（第1号）

- ・収益的収入及び支出に143千円を追加し、予算総額を138,516千円とするもの。主な内容は4月の人事異動に伴う人件費の増額、起債償還利息の減額。また、資本的支出には125千円を追加し、予算総額を22,937千円とするもの。内容は、利息の確定に伴う償還額の再計算によるもの。

同意第1号 監査委員の選任同意

- ・地方自治法第196条第1項及び木曾広域連合規約第16条第2項の規定により、監査委員に選任した古畑 一夫氏（木曾町）に同意した。

## ○王滝村固定資産評価審査会委員に西村氏

任期満了に伴う固定資産評価審査委員会委員に西村 時夫氏（上条区）が議会の同意を得て選任された。任期は、令和2年8月1日から令和5年7月31日までの3年間。

## ○王滝村監査委員に齋藤氏再任

王滝村監査委員に齋藤 晃氏（木曾町新開）が議会の同意を得て選任された。任期は令和2年7月1日から令和6年6月30日までの4年間。

## ○王滝村農業委員会委員を選任

任期満了に伴う農業委員会委員に次の10名が議会の同意を得て選任された。  
 地区推薦 中井 秀男（鞍馬・崩越区）・中越 晴彦（中越区）・松越 柳子（東区）・南 直（下条区）・富井 聡美（上条区）・大原 博介（九臓区）・森護（野口区）・三浦 征弘（滝越区）  
 団体推薦 瀬戸 エイコ（野口区）  
 個人推薦 宮澤 博（野口区）  
 任期は、令和2年7月20日から令和5年7月19日までの3年間。

## 《 編 集 後 記 》

今年の夏は、富士山を始めとして多くの山小屋が休業することになりました。王滝村も頂上山荘まで登れるようにはなりませんが、どれだけのお客さんが訪れるか予想が付きません。

宿泊客は大幅に減っても、日帰り客は増えるのではとの見方もあります。多くのお客さんに来てもらいたいのは山々ですが、コロナを持ち込まれたくはない本音もあって、対応に苦慮することになりそうです。

（祥）

## 【3月】

- 10日 おんたけ2240スキー場視察
- 25日 例月出納検査（2月分）
- 31日 第2回全員協議会・村議会3月定例会（2日目）・第1回議会だより編集委員会

## 【4月】

- 10日 おんたけ2240スキー場視察
- 15日 議会だより（148号）発行
- 24日 氷ヶ瀬大山神社例祭
- 28日 木曾郡町村議会議長会（木曾町）
- 30日 例月出納検査（3月分）

## 【5月】

- 12日 第3回全員協議会・村議会5月臨時会・第4回議会運営委員会・第1回産業建設常任委員会
- 14日 王滝小中学校長との面会
- 18日 木曾広域連合議会 議会運営委員会・総務常任委員会（木曾町）
- 19日 木曾広域連合議会 経済観光常任委員会（木曾町）
- 20日 木曾広域連合議会 福祉環境常任委員会（木曾町）
- 21日 村内美化清掃
- 25日 アクリル板寄付感謝状贈呈・新型コロナウイルス感染症王滝村対策本部会議
- 27日 例月出納検査（4月分）・木曾広域議会定例会（木曾町）

## 【6月】

- 2日 春山村有林視察
- 5日 長野県町村議会議長会役員会（長野市）
- 8日 木曾郡町村議会議長会（木曾町）
- 9日 おんたけ休暇村視察
- 10日 社会福祉協議会理事会・王滝村共同募金委員会第1回運営委員会
- 11日 第4回全員協議会・第2回産業建設常任委員会・第5回議会運営委員会・第3回議会全員協議会
- 17日 村議会6月定例会開会（1日目）

